

式 辞

春爛漫、桜花咲き誇り、若葉の光も、一段とさわやかさを増し、新入生のみなさんを、心から、歓迎してくれています。

公私何かとお忙しいところ、多数のご来賓のみな様、そして保護者のみな様のご臨席をいただき、平成二九年・二〇一七年度、七三期生の入学式を挙行できますこと、から感謝し、厚くお礼申しあげます。

さて、新入生のみなさん、入学おめでとう。今日から伝統ある住吉中学校の生徒です。「児童」から「生徒」へと呼び名も変わりました。この呼び名の変化は、みなさんが一歩、大人に近づいたことを自覚してほしいという願いが込められています。

今、壇上からみなさんの顔を見ていると、どの人の目も清らかに澄み、「さあやるぞ」という強い意思が伝わってきます。その目が語っている今のみなさんの心の姿を「初心」と言います。どうかその初心を大切にしっかりと前を見つめて中学校生活をまっすぐに進めてください。

本校入学を契機として、新しい自分を探す旅の始まりです。中学の3年間を、実りあるものにするために、一日一日を大切に過ごして欲しいと願っています。

そこで、入学に当たり二つのこととお話したいと思います。

1つ目は、アメリカダイリーガーのイチロー選手の言葉を紹介しお話したいと思います。

努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうじゃない。

努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。

人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。 と、

中学入学後、みなさんには楽しいことだけでなく、しんどいこと、つらいこと、我慢しなければならないこともたくさん起こるでしょう。

楽しみにしている部活動も苦しい練習に耐えてこそ「勝つ」喜びが得られます。勉強も同じです。

みなさんはこの時代に生まれてきました。みなさんが生まれてきたということは、みなさんにしかできない何かがあるからなのです。そのみなさんが持っている素晴らしい才能をつばみのままで終わらせないためにも、しんどいこと、嫌なことから

逃げずに頑張ってほしいと思います。

困難は、それに耐えることのできる人にだけ与えられるのです。

2つ目は、君たちの顔がひとり一人、違うように、考え方や、体つきも違っています。

体の丈夫な人・障害のある人・力の強い人・弱い人、いろいろな、個性のある人が集まって、学習するところが、この住吉中学校です。

相手のことを考え、行動できる生徒に育ってほしいと願っています。「互いの個性を尊重し、違いを認め合う集団」をつくりましょう。

今日からみなさんは「人にやさしい学校、人にやさしい心」を育てるために、在校生のみなさんと、一緒に取り組んでいきましょう。

保護者のみな様、私は目標として「人にやさしい生徒・人にやさしい住吉中学校」づくりを目指し、積極的に取り組んでまいります。

そして、本校職員と一丸となって、学力の向上に努めてまいります。

しかしこれは、保護者のみな様のご協力なくしてはできません。どうぞ、絶大なるご支援をお願いいたします。

教育は、林業に似ています。一年で、花や実のなる農業とは違い、一〇年先、二〇年先になるかは個人により違いがありますが、まっすぐ立派な木として成長することを願う作業です。

学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの心に「わがまま」「自分勝手」という横枝が生えてきたときは切り取り、堂々

とした大木になるよう、ともに育てていきたいと思います。よろしく
お願いいたします。

簡単ではございますが式辞といたします。

平成二九年・二〇一七年四月八日

大阪市立住吉中学校

校長 村瀬香織